

2018年(平成30年)1月27日(土曜日)

「不当に安くしてない」

三島駅再開発で市長が反論

三島市のJＲ三島駅南口の再開発事業に反対する市民団体が西街区の土地を不当な安価で売却させたなどとして住民監査請求を計画している動きについて、豊岡武士市長は二十六日の記者会見で、「法令や規則にのっとって事務を進めてき

た。市議会に審議や必要な議決をしていたべき適切に進めてきた」と述べた。

住民監査請求は、三島駅南口の整備を考える市民の会が三十日に行う。市が土地開発公社に西街区の土地を通常より三億六千万円安く東京急行電鉄に売却さ

せた上、建物解体費など九千万円を市が負担し、計約四億五千万円の便宜を図った疑いがあるとして豊岡市長に損失の補填を求めた。

豊岡市長は土地の売却価格が不当な安価だったとする市民の会の主張に対して、「きちんと不動産鑑定を行い、その価格以上で売却した。不当に安くしたということはあり得ない」と反論した。(佐久間博康)